

保護者の皆さまへ

●●保育園

園長 ●●●●

この2行の内容は、園の実際に合わせてください。

ご存知の通り、当園では「季節を感じる給食」の一環としてこの季節、焼いたサンマを年長組に提供しています。

魚の骨ではなく、別の話であっても、まずは「自園がしてきた活動、しようとしている活動」「その活動に伴う客観的なリスク」を述べます。そのうえで、「保護者が家庭で同じ活動をしているかどうか」（家庭ではその活動がありえないのであれば、これはナシでよい）と、「保護者は園に、その活動をしてほしいと望んでいるかどうか」を尋ねましょう。

近年、小骨の多い魚（例：サンマ、アジ、イワシ）を食べないご家庭も増えているようです。こうした魚の細かい骨は食べる前にすべて取り除くのも難しく、刺さって取れない場合には、細菌感染などの危険性もあります。子どもの場合、刺さった時に自分で落ち着いて対応することもできません。

そのため、サンマを提供するにあたり、保護者の皆さまにおうかがいします。下のアンケートに回答をご記入のうえ、●月●日までにご意見箱に入れてください。ご回答いただけないご家庭のお子さんには、サンマを提供いたしませんので、ご了承ください。骨が刺さったとみられる時、当園ではすぐに■■■医院に受診します。

----- 切り取り線 -----

●月●日までに提出してください。

ここは重要。
ゴシック体で。

お子さんのお名前 ()

私の子どもは**家庭でひんぱんに**、骨がついている（小骨が残っている）サンマ、イワシ、アジ等を…

() 食べている () 食べていない

→ () 歳 () カ月ぐらいから

園の給食で、私の子どもに骨がついているサンマ、イワシ、アジ等の魚を…

() 食べさせてほしい () 食べさせないでほしい

その他、ご要望がありましたら、お書きください。

「家では食べていないが、園では食べさせてほしい」という保護者もいるでしょう。つい最近になって食べ始めた子どももいるでしょう。そうした情報は、給食の時、どの子どもにどのように配慮すればいいかを考えるために役立ちます。

「家では食べていないが、園では食べさせてほしい」という子どもがとてたくさんいたら…？ 活動を続ける価値とリスクを再考する機会かもしれません。